

とおかまち



心を合わせてがんばりました。

写真は松之山のながなわとび大会に当初から参加し続けている藤倉集落のチーム。15戸、49人の集落でチームが編成され、人口の4分の1が選手として参加しています。チームの成績は残念ながら4位でしたが、来年こそは優勝を目指します。(関連記事14ページ)

主な内容

- 市民事業検討ワーキング開催 ほか…………… 2-3
- 農業委員決定／農業実習生募集…………… 4-5
- 放射能測定結果／まどうけ利用開始…………… 6-7
- 子育て支援課／宅地売却 ほか…………… 8-9
- 家読を始めよう／水道事業／はたログ…………… 10-13
- 地域の風～支所からのたより～…………… 14-15
- きらめき青春／お～い!昔 ほか…………… 16-17
- コメを食べよう／小中一貫教育 ほか…………… 18-19
- まちの話題TOPICS…………… 20-22
- お知らせ・ガイド／熱中夢中…………… 23-28

市民事業検討ワーキングの検討結果（概要）

※詳しくは市の公式ホームページ（<http://www.city.tokamachi.lg.jp/machi/index.html>）をご覧ください

■環境分析

強み（中心市街地内の要素）	機会（外部の要素）
<ul style="list-style-type: none"> ・人柄、コミュニティ ・文化やまつりの豊かさ ・市街地に魅力あるお店が多い ・芸術文化がある ・雪対策ハード設備の充実 ・活用可能な空き店舗、空き地がある ・きもの産地である ・街並みがきれい ・「日本一の豪雪の市街地」という特徴 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・国宝「火焰型土器」がある ・おいしい食材、名産品がある（水、そば、米など） ・魅力ある美しい自然（里山、ブナ林、棚田、信濃川など）、それを生かしたリゾート施設 ・温泉が多い ・大地の芸術祭 ・雪 など
弱み（中心市街地内の要素）	脅威（外部の要素）
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がない ・娯楽施設、公園、広場がない ・特徴的または象徴的な建物が少ない ・観光資源が少なく、また市街地から観光スポットまで距離があり、交通機関がない ・空き店舗、空き地が多く、店の連続性がない ・街歩きをするためのソフト事業がない など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然（雪が多い、地震などの自然災害） ・人口の減少、少子高齢化率の向上 ・中山間地の過疎化 ・若者の流出 ・基幹産業であるきもの産業の生産額の落ち込み など

■各グループから出されたまちづくりのテーマ（将来像）と重点事業名

テーマ（将来像）	重点事業名
芸術的な街にする	街なか美術館事業
文化活動の拠点と近代的な住宅地のある街	旧県テクノスクール跡地及び周辺土地活用整備事業
徹底的に女性が喜ぶ街にする	女性による街なかプロデュース事業
元気な高齢者と雪国の風情のある街の実現	旧娯楽会館跡地を活用したにぎわい空間の創出事業
きもの、縄文文化、芸術作品を活用し、観光客が集まる街	エンジョイ十日町まちづくりプロデュース事業
十日町まるごと体感 in 滝文	旧滝文を利用した十日町体感施設整備事業
女性が訪れたいまち	街なかいろいろ体験事業
十日町 和のテーマパーク	和のテーマパーク事業



7月10日(日)、商店街でとおか市が開催され、41店舗の店頭には子ども店長がお客様をもてなす姿が見られました。店長として参加したのは市内小学生の229人。それぞれが希望する商店に向き、接客の方法や商品の説明を店主から受けていました。にぎわい研究所の発案で始められたとおか市も今回で8回目。今後も多彩な取り組みで中心市街地を盛り上げます。

とおか市で「子ども店長」が商店街に出現

— みんなのよりどころである「まち」の再生を目指して —

中心市街地活性化基本計画策定事業「市民事業検討ワーキング」が開催されました

市で現在取り組んでいる「十日町市中心市街地活性化基本計画策定事業」の概要については、市報5月25日号でお知らせしましたが、4月下旬から6月上旬にかけ5回にわたり「市民事業検討ワーキング」を開催しましたので概要をお知らせします。

ワーキングには、市内の商業や文化・芸術、観光、交通、地域協議会、地区振興会、医療福祉などさまざまな分野に関わる市民の皆さんが参加しました。

市民事業検討ワーキング開催の趣旨

中心市街地活性化基本計画の策定は、市と市民の皆さんが将来のにぎわいを思い描きながら、いっしょに取り組んでいくものです。市でも庁内組織を編成し、中心市街地に何が求められているのか、市として何をしたいか、何ができるのかを話し合っています。が、それだけでは決して十分ではありません。

さまざまな立場の市民の皆さんから、中心市街地の再生のためのアイデアを出し合い話し合ってもらい機会としてワーキングを開催しました。

中心市街地の「強み」「弱み」「機会」「脅威」は何だろう

ワーキングでは、まず、中心市街地の現在の環境を分析することから始めました。日頃、中心市街地について考えていること、思っていることを自由に出し合い、中心市街地の再生のために必要と思われる取り組みを掘り起こしていくうえでの基礎データとしました。

どんなイメージの「まち」をつくりたいですか

環境分析の後、参加者を8つのグループに分け、グループごとに、どんな「まち」をつくりたいかというテーマや将来像を定め、その実現のためにどのような取り組みが必要かアイデアを出し合っていました。そして、さまざまなアイディアの中から最も重要な高い、優先的に行うべき事業を一つ選び、選んだ事業について「どの役割を」「誰が」「いつ」行うかなどを話し合い、整理していきました。

今後の取り組みについて

市民事業検討ワーキングの結果は今後、市の庁内組織のアイデアや各種団体から提案されたアイデアといっしょに、事業の実現可能性や事業主体などについて議論を深めたうえで、にぎわいを取り戻すために必要な事業の要素として基本計画の中に位置づけていく予定です。

基本計画の第一次素案の策定は9月下旬を予定しています。内容については、市報やホームページで公表するほか、シンポジウムま

たは講演会の開催を通して情報発信していきます。

市民一人ひとりが取り組みに関心を持つことが、みんなのよりどころであり、活気のある中心市街地再生の原動力になります。今後も将来のにぎわいを夢見ていっしょに取り組んでいきましょう。

問合せ・産業観光企画課

☎ 757-3691

とおかまちバル2011

市内の飲食店で飲み歩き！食べ歩き！

8月5日(金)・6日(土)

とおか市では、市内の飲食店約20店舗が、500円程度の趣向を凝らしたメニューをそろえて皆さんをお待ちしています。家族や仲間とハシゴしませんか。スタンプリーも開催します。詳しくはとおか市のチラシ、ポスターをご覧ください。

※『バル』は「BAR（バー）」のスペイン語読み

■問合せ・商店街にぎわい研究所 ☎ 761-7230



意欲ある農業実習生を募集中

十日町市の農業の未来のために

■問合せ：十日町市担い手育成総合支援協議会事務局
(農林課農業企画係内 ☎757-3120)

十日町市の農業の担い手づくりのため、農業実習生を募集しています。「農業に興味がある」「農業をやってみたくて何かから始めたらいいかわからない」という皆さん、この機会にぜひチャレンジしてください。

- 期間：1～3か月（1か月おおむね20日以上）
※受け入れ農家と調整して決定します。実習日は連続しなくても可能です
- 申込み：上記問合せ先まで連絡してください。申込書を郵送します。※申込書はホームページからもダウンロードできます

- 実習時間：1日おおむね8時間 ※時間帯は受け入れ農家によって異なります
- 費用：2,000円程度（傷害保険料のみ）
- その他：農作業着などは、受け入れ農家から借りることができます。また、実習後、簡単なレポートの提出が必要です。

農業に興味がある学生の皆さんへ

今年の夏休みは十日町市で農業実習をしてみませんか。実家から通ったり、受け入れ農家にファームステイしたりしながら農業実習ができます。気軽に事務局へ相談してください。



農業実習 受け入れ農家一覧 (7月1日現在)

No.	農家名	実習地域	作付け作目など	実習作業	ファームステイ	受け入れ可能時期	受け入れ農家希望事項	実習生への謝礼
1	(有)結い	十日町	トマト、じゃがいもなど	管理作業	○	4月～12月20日	自炊	より0000円程度(金額などについては実習先、実習作業などに合わせてください。)
2	高橋 章	十日町	水稲、アスパラ、トマト	草刈り、収穫、除草ほか	×	6月～10月	へこたれない根性のある人、健康な人	
3	柳 幸雄	十日町	サルナシ、ワラビ、木の芽	植替え、収穫	×	5月～11月	サルナシに興味のある人	
4	(農)ふれあいファーム三ヶ村	十日町	水稲	水稲全般	○	8月～10月	山間地の農業の実情を体験してもらいたい	
5	ポブファーム 大津貴夫	十日町	なす、かぼちゃ	収穫、選別	×	8月～10月	なすの収穫選別のため女性希望	
6	(有)澤口養豚場	川西	豚	飼育全般	×	7月～8月	意欲のある人、体力のある人、25歳以下	
7	蔵品 守	川西	水稲、野菜	水稲全般、野菜全般	○	4月～10月	農家レストラン経営のため女性でやる気のある人	
8	苗場高原生産組合	中里	枝豆	除草、選別、刈り取り	×	6月～8月	新規就農者として期待	
9	山田茂夫	中里	水稲、人参、大根、イチゴ、リアトリス	水稲全般、間引き～収穫、出荷、イチゴ苗管理	×	8月～10月	意欲ある人、畑作希望者	
10	草村好信	松之山	水稲	農作業各種全般	○	7月～10月	1か月可	

十日町市農業委員会委員一般選挙結果

新しい農業委員41人が決まりました

任期満了に伴う十日町市農業委員会委員一般選挙の告示・立候補受付が7月3日に行われ、各選挙区とも立候補者数と委員定数が同数のため、無投票での当選となりました。当選者には、7月10日の選挙会を経て7月11日に市選挙管理委員会から当選証書が交付されました。また、同日、十日町農業協同組合、魚沼農業共済組合、中魚沼土地改良協会及び市議会から推薦された選任委員4人に市長から辞令が交付されました。

新農業委員は下記のとおりです。(任期：平成23年7月20日～平成26年7月19日の3年間)

■問合せ：農業委員会事務局 ☎763-2515

◎選挙による農業委員 (届け出順・敬称略)

区 域 名	委員名 (年齢)	行政区	区 域 名	委員名 (年齢)	行政区			
第1選挙区 【定員3人】 十日町・川治・六箇区域	南雲 敏夫 (74)	中村	第6選挙区 【定員6人】 中里区域	鈴木 隆 (52)	中里下山			
	村山 隆義 (53)	稻荷町3南		鈴木 久元 (57)	倉俣			
	長津 高吉 (74)	川治上町1		樋口 富行 (60)	荒屋			
		南雲 秀夫 (60)		本屋敷				
		小柳 由夫 (59)		如来寺				
		渡邊 富喜 (41)		高道山				
第2選挙区 【定員3人】 中条区域	阿部三代継 (77)	東枯木又	第7選挙区 【定員5人】 松代区域	関谷信一郎 (55)	松代			
	須藤 英雄 (52)	中条島		若井 君男 (59)	蓬平			
	金子 武司 (66)	四日町新田1		米持 熊夫 (60)	室野			
		菅井 太一 (50)		名平				
		高橋 進 (63)		菅刈				
第3選挙区 【定員4人】 吉田・下条区域	児玉 孝夫 (70)	稲葉	第8選挙区 【定員4人】 松之山区域	高橋 清一 (65)	天水島			
	関 由昇 (70)	上新田2		相澤 成一 (63)	水梨			
	柳 茂 (61)	南鏡坂		高橋清一郎 (64)	湯山			
	山田 清吉 (67)	新光寺		村山 幸夫 (49)	坪野			
第4選挙区 【定員4人】 水沢区域	宮澤 貞二 (75)	伊達1	◎団体推薦による農業委員					
	山口 英和 (52)	馬場4				推薦団体名	委員名 (年齢)	行政区
	金澤 和宏 (63)	土市1				農業協同組合	柄澤 和久 (56)	沖立 (川西)
	佐藤三代治 (69)	当間				魚沼農業共済組合	水品 正幸 (49)	新町新田 (川西)
第5選挙区 【定員8人】 川西区域	中村 庄平 (58)	大白倉	中魚沼土地改良協会	富井 善一 (60)	市之越 (中里)			
	大嶋 一夫 (60)	新町新田				市議会	鈴木 一郎 (59)	白羽毛 (中里)
	高橋 勝則 (46)	千手上町						
	中村伊勢男 (71)	坪山						
	中島 勝志 (56)	上野						
	山家 勝一 (56)	木落						
滝井 保 (65)	野口							
平野 啓介 (70)	東善寺							

農家の相談所 農業委員の主な仕事

農地・農業のことなら
何でもご相談ください

- ◆農地の権利移動や農地転用の審査・許可
- ◆規模拡大を図る人などへ、農地利用集積と経営改善支援
- ◆耕作放棄地対策と農地パトロールの実施
- ◆農業者年金加入推進と受給手続きのお手伝い
- ◆情報事業として「全国農業新聞」の普及拡大
- ◆農業者の相談窓口 など

市内で放射能を測定した結果を報告します 第1回目観測

市では、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に伴う、放射線の影響などに対して住民不安が大きいことから放射線観測について新潟県と協議を進めてきました。その結果、県が保有する放射線観測機器を県内市町村が輪番で利用し、統一した観測方法で観測を実施しました。観測は、子どもへの放射線を心配している人が多いことから、小・中学校、保育園、幼稚園などを中心に測定します。

■問合せ：防災安全課防災安全係 ☎757-3197

【第1回目観測】 ◎日時：7月6日(水)～8日(金) ◎場所：市内小中学校グラウンド

※7月下旬に市内保育園、幼稚園を中心に測定する予定です

8月1日(月)まどうけ開始!

各支所で証明書の「窓口受付システム(通称:まどうけ)」が始まります

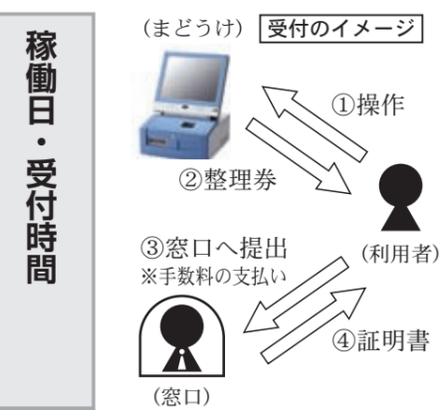
「まどうけ」は、本庁玄関に設置してある証明書自動交付機と同じように、暗証番号を登録したカードを利用することにより、証明書を簡単に受け取ることができる機械です。

窓口で証明書交付の申請書を記入する必要がなく、待ち時間が短縮でき、証明書の交付手数料も安くなります。



(まどうけのイメージ)

稼働日・受付時間
 ○稼働日 8月1日(月)
 ○受付時間 平日の午前8時30分～午後5時15分
 ※川西・中里・松代・松之山支所の窓口のみ
 ※土・日曜日、祝日は利用できません



まどうけの利用方法
 暗証番号を登録したカードでまどうけを操作(タッチパネル式)して、発行される整理券を窓口に参加するだけで証明書を受け取ることができます。

本庁玄関に設置してある「証明書自動交付機」では土・日曜日、祝日でも証明書の交付を受けることができます。
 ※毎日午前8時～午後8時

証明書の種類	手数料	
	まどうけ	通常
住民票 (本人及び同じ世帯員のもの)	250円	300円
印鑑証明書 (本人のもの)	250円	300円
戸籍証明書 (本籍が十日町市の本人のもの)	400円	450円
戸籍の附票 (本籍が十日町市の本人のもの)	250円	300円

※全て最新のものに限りです



自動交付機の利用登録者が2,000人を突破しました。

利用の前に暗証番号の登録手続きをお願いします
 まどうけの利用には暗証番号の登録手続きが必要です。
 ○申請者 利用者本人のみ(代理不可)
 ○必要なもの
 ・住民基本台帳カード、または印鑑登録証
 ・写真付きの本人確認書類(運転免許証、旅券など)
 ・印鑑(認印可)
 ・数字4けたの暗証番号
 ○登録手数料 無料
 ○手続き場所・問合せ 市民生活課市民年金係(☎757-3116)、または各支所市民課
 ※登録カードで、まどうけ・自動交付機とも利用できます

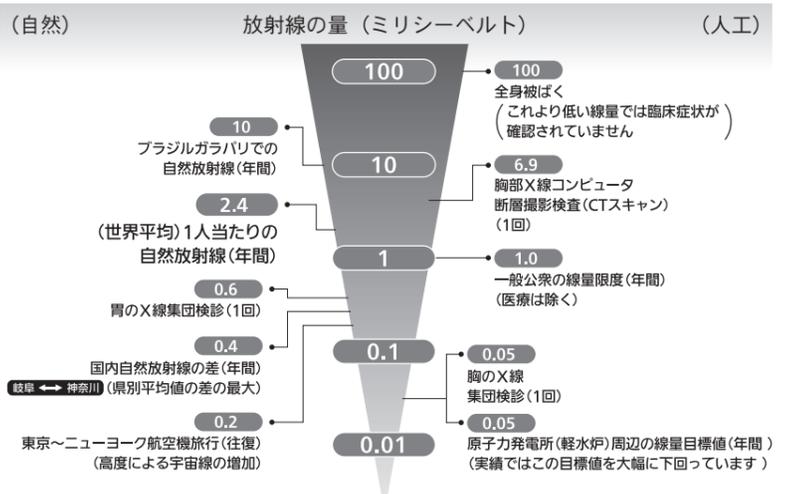
測定場所	測定結果(μSv/h) ※1時間当たりのマイクロシーベルト		
十日町小学校	地表10cm	0.116	
	地上50cm	0.100	
	地上1m	0.098	
中条小学校	地表10cm	0.132	
	地上50cm	0.130	
	地上1m	0.124	
東小学校	地表10cm	0.102	
	地上50cm	0.094	
	地上1m	0.090	
飛渡第一小学校	地表10cm	0.110	
	地上50cm	0.108	
	地上1m	0.098	
川治小学校	地表10cm	0.120	
	地上50cm	0.110	
	地上1m	0.104	
吉田小学校	地表10cm	0.088	
	地上50cm	0.088	
	地上1m	0.082	
鏡島小学校	地表10cm	0.094	
	地上50cm	0.078	
	地上1m	0.076	
下条小・中学校	地表10cm	0.100	
	地上50cm	0.094	
	地上1m	0.090	
水沢小学校	地表10cm	0.096	
	地上50cm	0.086	
	地上1m	0.086	
馬場小学校	地表10cm	0.082	
	地上50cm	0.082	
	地上1m	0.074	
西小学校	地表10cm	0.112	
	地上50cm	0.108	
	地上1m	0.100	

測定場所	測定結果(μSv/h) ※1時間当たりのマイクロシーベルト		
千手小学校	地表10cm	0.108	
	地上50cm	0.098	
	地上1m	0.090	
上野小学校	地表10cm	0.106	
	地上50cm	0.098	
	地上1m	0.096	
橘小学校	地表10cm	0.104	
	地上50cm	0.098	
	地上1m	0.098	
田沢小学校	地表10cm	0.108	
	地上50cm	0.092	
	地上1m	0.082	
倉俣小学校	地表10cm	0.122	
	地上50cm	0.108	
	地上1m	0.104	
貝野小学校	地表10cm	0.090	
	地上50cm	0.080	
	地上1m	0.084	
松代小学校	地表10cm	0.086	
	地上50cm	0.080	
	地上1m	0.084	
孟地小学校	地表10cm	0.070	
	地上50cm	0.064	
	地上1m	0.062	
奴奈川小学校	地表10cm	0.122	
	地上50cm	0.114	
	地上1m	0.114	
松之山小学校	地表10cm	0.084	
	地上50cm	0.078	
	地上1m	0.074	
松里小学校	地表10cm	0.106	
	地上50cm	0.098	
	地上1m	0.100	

測定場所	測定結果(μSv/h) ※1時間当たりのマイクロシーベルト		
浦田小学校	地表10cm	0.090	
	地上50cm	0.080	
	地上1m	0.082	
十日町中学校	地表10cm	0.098	
	地上50cm	0.100	
	地上1m	0.088	
中条中学校	地表10cm	0.104	
	地上50cm	0.098	
	地上1m	0.094	
南中学校	地表10cm	0.128	
	地上50cm	0.114	
	地上1m	0.114	
吉田中学校	地表10cm	0.094	
	地上50cm	0.086	
	地上1m	0.086	
水沢中学校	地表10cm	0.098	
	地上50cm	0.092	
	地上1m	0.090	
川西中学校	地表10cm	0.090	
	地上50cm	0.082	
	地上1m	0.078	
中里中学校	地表10cm	0.122	
	地上50cm	0.116	
	地上1m	0.114	
松代中学校	地表10cm	0.120	
	地上50cm	0.114	
	地上1m	0.112	
松之山中学校	地表10cm	0.074	
	地上50cm	0.072	
	地上1m	0.072	

(新潟県の参考資料から)

- ① 通常の測定範囲：0.016～0.16 μSv/h程度
- ② サーベイメータによる測定結果です。サーベイメータは、人体の被ばく管理用のため最も放射線に敏感な皮膚下の数値に補正したうえで表示されます。このため、サーベイメータの測定値は、モニタリングポストの測定値に対し、3割程度高めになる傾向があります。



※1 mSv(ミリシーベルト)は1,000 μSv(マイクロシーベルト)に相当します

子育て支援課からのお知らせ

■問合せ：子育て支援課子育て支援係
☎757-3719、または各支所市民課



児童扶養手当の現況届を提出してください

現在、児童扶養手当を受けている人は、現況届を次の期間内に忘れずに提出してください。期限内に提出をしない場合は手当の支給が停止されます。現況届などは、後日送付します。

●提出期間

◇8月1日(月)～31日(水)

●持参するもの

◇市からの送付書類で確認してください。

4～7月分の児童扶養手当を振り込みます

児童扶養手当は、離婚などにより父母のいずれかと生計を同じくしていない児童を養育している人などに支給されます。

4～7月分を8月11日(木)に振り込みます。

●**手当額**：受給者により異なります。5月2日付で送付した「児

童扶養手当の手当額改定について」を確認してください。

ひとり親家庭等医療費助成受給者証の更新申請をしてください

ひとり親家庭等医療費助成受給者証の交付を受けている人は、毎年更新の手続きが必要です。手続きをしないと受給者証を交付しません。更新が必要な人には後日書類を送付しますので、期限内に必ず手続きをしてください。

●更新期間

◇8月1日(月)～31日(水)

●持参するもの

◇市からの送付書類、受給者証、印鑑、該当する保護者と子どもの医療保険証の写し

ひとり親家庭等支援のための医療費助成制度とは

次に該当するひとり親家庭などの支援のため、保険適用分の医療費の一部を助成しています。

●対象者

◇ひとり親家庭の親と児童
◇父母のいない児童とその養育者
◇父または母に重度の障がいがある場合は障がいのない親と児童。
◇両親が重度障がいの場合は児童。

●対象年齢

◇児童が18歳に達した最初の3月31日まで(障がいがある場合は20歳未満まで)

◇2人以上の扶養児童がいる場合は、最後の1人が非該当になるまで扶養者は受給資格があります。

●**助成対象**：保険診療(医科、歯科、調剤分)の医療費が対象です。

●**一部負担金**：保護者の負担の限度額は次のとおりです。

◇通院1回につき530円(同一の医療機関にひと月4回まで負担、5回目以降は無料)

◇医師の処方による薬剤の費用は無料
◇入院1日につき1,200円



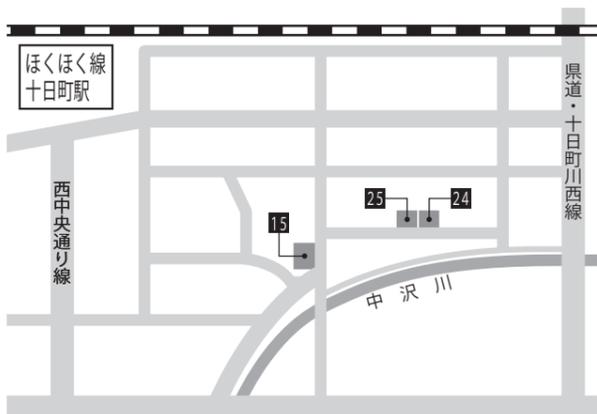
十日町駅西・西本町土地区画整理事業地区内の宅地を売却します

駅西 宅地の位置、地積及び売却価格

番号	地目	地積 (㎡)	売却価格 (円)	備考
15	宅地	317.01	19,499,397	電柱あり
24	宅地	189.83	11,468,579	
25	宅地	210.39	12,710,711	

西本町宅地の位置、地積及び売却価格

番号	地目	地積 (㎡)	売却価格 (円)	備考
19	宅地	2,464.21	113,942,606	電柱、農作業用水路あり
23	宅地	1,406.52	64,469,250	電柱あり



◆売却方法

公募 ※1宅地の申込みが複数の場合は抽選

◆申込み方法

日時：7月25日(月)～8月8日(月) 午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日を除く

場所：都市計画課区画整理係

◆抽選 日時：8月9日(火) 午後7時30分から

会場：十日町保健センター(市役所隣) 2階 集団検診室

◆問合せ：都市計画課区画整理係 ☎757-3150

詳細や申込み方法などについては、問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。

はぐくみのまちづくり運動 「できるじやう」 標語募集 やってみよう!

大人も子どもも、基本的な生活習慣づくりの大切さを考えて「できることから、やってみよう」ということをPRする標語を作ってください。

◆標語の5つのテーマ

- ①食べることを考えよう
- ②子どもの安全を守ろう
- ③読む力を身につけよう
- ④元気にあいさつしよう
- ⑤体力・たくましさを伸ばそう

◆募集期間：7月25日(月)～9月5日(月)

◆**対象**：市民または市内在勤の人
◆**応募数**：5つのテーマのいずれかを選んで、個人の応募は1人1点まで ※個人の応募以外に家族やグループ単位で1点まで応募できます

◆**応募方法**：市内の公民館に備えてある応募チラシで申し込んでください(小・中学生には学校経由で応募チラシを配布します)

◆**問合せ**：青少年育成十日町市民会議事務局(生涯学習課内) ☎757-8918

テレホンカードを義援金として活用します

市では、提供していただいたテレホンカードの度数を市の電話料金に充てることで支出減となった電話料金相当分を「義援金」として十日町市長野北部地震及び東北地方太平洋沖地震で被災した皆さんの支援に役立てます。不用なテレホンカードがありましたら寄付してください。※未使用のテレホンカードに限ります

■期間：7月25日(月)～9月30日(金)

■**受付場所**：市役所などに設置してある「十日町市長野北部地震義援金」及び「東北地方太平洋沖地震市民募金」の募金箱に入れています。

■その他

※郵送でも受け付けています
※領収書の発行はしません
※テレホンカードの返却はしません

※50度数のカードの場合、手数料52・5円を引いた447・5円が義援金として活用されます

■送付・問合せ

総務課行政管理係
☎757-9913

「家読」をはじめまじゅう

「家族ふれあい読書で家族の絆を」

問合せ・情報館

☎750-5100



「家読」って なんですか？

皆さんは「家読」という言葉を聞いたことがありますか。まだまだ定着していない言葉なので、初めて知った人もいるかもしれません。

多くの学校で授業が始まる前の時間を利用した「朝の読書」が行われていますが、今度は家庭で、家族みんなで、本を読む新しい読書スタイル「家読」の取り組みが全国各地で始まっています。

「家読」が普及していくためにも、身近な情報館（図書館）とその分室の絵本や児童書を充実させ、市民が「家読」に取り組みやすい環境を作っていきます。

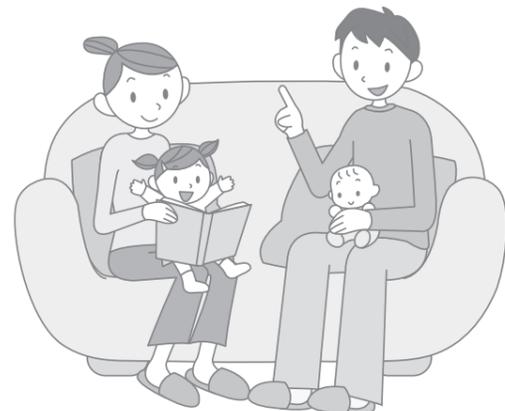
情報館まるごと体感フェアで「家読」をアピールします

7月30日(土)から8月7日(日)まで、情報館の施設や活動のおもしろさを多くの市民に知ってもらうために、第2回「情報館まるごと体感フェア」を開催します。

期間中、情報館では「家読をはじめよう」と題したテーマ図書を設置し、各家庭で「家読」を始めにに適した絵本や児童書をたくさん展示・紹介します。

また、テーマ図書のコーナーに「家読」の公式リーフレットも設置する予定です。「家読」についてより詳しく知るためのよい資料になるはずですよ。

併せて、情報館オリジナルの「家読」で読んだ本を記録する用紙も配布します。ぜひ、情報館まるごと体感フェアをきっかけにして各家庭で「家読」を始めてください。



この「家読」は、家族で本を読んでコミュニケーションをとり、家族のきずなを強くすることが目的です。つまり「家族ふれあい読書」「家読」とも言えるでしょう。その背景には、電子メディアの弊害など今の時代を象徴する社会的問題、家族の問題があります。「家読」はバランスが崩れてきた家族のあり方を問いただすものでもあります。

具体的にはどんなことをすればいいの？

うちどくホームページ (http://www.1.e-hon.ne.jp/content/uchidokku_top.html) によれば、「うちどく」は家族で読書の習慣を共有することです。家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「家読」の基本とされています。読書というと

情報館まるごと体感フェアの期間中は、「家読をはじめよう」のテーマ図書以外にも、大人も子どもも楽しめる催しがたくさん用意されています。夏休みの思い出づくりに、情報館に遊びに来てください。(情報館まるごと体感フェアの催し内容は、市報とおかまち7月10日号に掲載)

少し硬い感じもありますが、絵本の読み聞かせなどでも全く構いません。

そうした基本さえおさえれば、「家読」は特に決まったやり方があるわけではありません。しかし、家読推進プロジェクトのホームページ「うちどく.com」(<http://uchidokku.com/>) に掲載されている「うちどくマニュアル家庭編」には次の10項目が挙げられているので、参考に紹介します。

- ① 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう
 - ② わが家の家読スタイルを話し合って決めよう
 - ③ 家族で話し合って読む本を決めよう
 - ④ ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう
 - ⑤ 年齢に合ったスキップをとりながら家読をしよう
 - ⑥ わが家の家読の記録を残そう
 - ⑦ 家族の読書体験を語ろう
 - ⑧ 家庭文庫を作ろう
 - ⑨ 図書館に行こうデーを作ろう
 - ⑩ 家読の輪を広げよう
- 皆さんもこれらの中からできそうなものを取り組んでみてはどうでしょうか。

市内でも既に始まっている「家読」の取り組み

市内でも学校を挙げて「家読」に取り組んでいるところがあります。飛渡第一小学校では高橋しげ子校長が中心となって、昨年「家読」の取り組みを進めています。本年度も4月23日からの「こどもの読書週間」に併せて、学校から保護者に以下のような呼びかけをして「家読」を進めました。

- (1) 「家読」の時間をつくろう
1週間に2回程度で20分以上お願いします。もちろん毎日ならなおいいです。一人ずつ読む、いっしょに読む、読んであげる、読んでもらう…どの形でもけっこうです。同じ空間で本に親しむ時間を作ってください。
- (2) 情報館や本屋に行ってみよう
休みの日に情報館や本屋に行ってください。子どもたちは車の運転ができませんので、家族に連れて行ってもらうしかありません。お家の人もいっしょに借りてみてください。雑誌などもあります。
- (3) 記録を見よう
うちどく記録カードを持ち帰ります。形は新しくしました。いっしょに書いたり、書いたカードに目を通したりして、読書意欲が高まるように励ましてください。
高橋校長は、「家読」の取り組みを進める中で子どもたちの表情が変わってきたと話していました。子どもたちの豊かな心と家族のきずなを育むために、家庭内の読書習慣を作っていきたいですね。

十日町市ではどんな取り組みをしよう？

十日町市では、次ページに掲載した飛渡第一小学校などいくつかの取り組みがありますが、まだまだ市全体では「家読」に対する認知度が高くありません。

まずは、「家読」という言葉を多くの市民に知ってもらい、家庭で子どもといっしょに読書しようという意識を高めていきたいと考えています。

市では本年度、新潟県安心子ども基金を活用した「図書館子育て支援拠点化事業」を行います。絵本や児童書、あるいは育児や家庭教育関係の図書をたくさん購入し、情報館（図書館）とその分室（公民館図書室など）を子育ての拠点



十日町の働く現場を紹介します。

■問合せ 産業振興課 ☎757-3139

株式会社 村熊商店

～家庭用、事業所用のLPガス、灯油の販売のほか、ガスや水道の設備工事を手掛けています。またLPガスを利用して発電するシステム「エネファーム」の販売にも力を入れ、各家庭の省エネ対策を応援します～

明治25年に創業した当時は、炭やまき、材木を専業としてスタートしました。戦後は練炭や豆炭を取り扱い、時代の流れと共に灯油の販売へと移行し、昭和28年に榑村熊商店を設立してLPガスの販売を始めました。現在はガス設備工事や上下水道工事も手がけています。LPガスは本来無色無臭のガスであるため、安全上臭いを付けています。どこでも手軽に運べる大変便利な商品として約1,500戸の家庭にガスを供給し、24時間管理システムのもと、使用状況に応じた対応や保安の確保に努めています。また、おととしに



登場した燃料電池「エネファーム」をいち早く自社に設置し、環境に優しいLPガスを使って自家発電を行っています。ガスを利用したヒートポンプエアコンも節電に大変効果的です。節電が呼び掛けられている今こそ、電気を使わずに湯沸かしや煮炊きができるLPガスの優位性が発揮されます。暮らしを便利にするため、ガスを通じてシステムバスなど水回りの改修工事も請負っていて、今後も電気とガスのベストミックスを提案し地域に貢献していきます。

～お正月のしめ飾りを製造しています。使用するワラの多くを地元松代、川西の農家から仕入れ、一つひとつ丹精込めて作り上げています。形も定番とアレンジ、伝統とモダンなどさまざまなニーズに合わせてデザインします～

有限会社 川端商店

昭和30年の創業時はぎんなん屋として、生産者からぎんなんを買い取り、それをパック詰めして東京の築地市場などに卸していました。その後、米の減反制度が始まったことを契機に、遊休田に地元農家からしめ縄用の稲を作付けしてもらい、しめ飾り作りを始めました。協力農家は松代、川西など合わせて150人程度で作付面積は12ヘクタールほどあります。稲の収穫量は2トントラックで約150台分となり、腐敗しないよう乾燥処理後、倉庫3か所に備蓄します。この大量の稲ワラを1年がかりで一つひとつ丁寧に加工し、

100種類ほどのしめ飾りを年間約200万本出荷しています。家庭用の一般的なサイズから神社などに飾る巨大な特注品まで受注可能で、名古屋や東京が主な取引先となっています。米どころ新潟で採れた高品質の稲ワラを使用し、また形も自由にデザインが可能のため、お客様から大変喜ばれています。これからも従業員、生産者、そして地域がいつまでも明るく元気でいられるよう、地元の貴重な雇用の場として地域に貢献していきます。



株式会社 村熊商店

代表者：代表取締役 村山 松寿
 所在地：十日町市高田町6
 連絡先：☎752-3597
 従業員数：12人（駅通り店含む）
 事業内容：LPガス、灯油、住宅設備機器の販売
 採用計画：若干名（予定あり）
 理念/方針：熱さ心・毅さ心・寛さ心



有限会社 川端商店

代表者：代表取締役社長 若月 忠次郎
 所在地：十日町市千年46-1
 連絡先：☎597-2624
 URL：http://www.simekazari.com/
 従業員数：14人
 事業内容：正月用しめ飾りの製造
 採用計画：未定
 理念/方針：地域・生産者・従業員の元気が一番



※はたログ掲載事業所を募集しています。詳しくは産業振興課まで

水道事業のお知らせ

平成22年度水道事業下半期の業務状況と23年度予算をお知らせします。

■問合せ：上下水道局事務係 ☎757-3115



22年度下半期の業務状況

給水業務量の状況

平成22年10月1日～23年3月31日

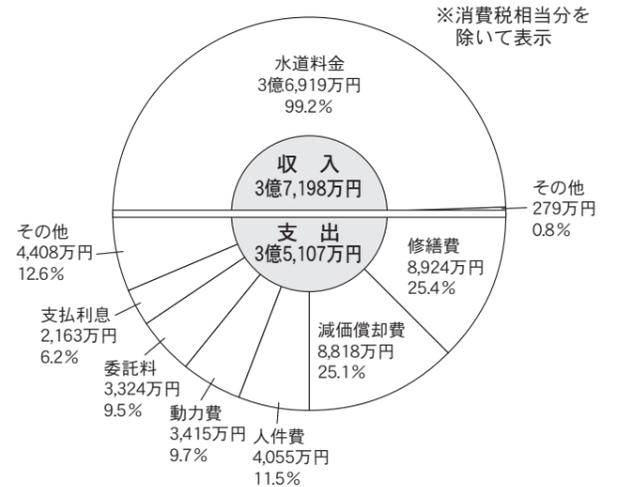
区分	22年度 下半期	21年度 下半期	前年度比	
			増減	比率(%)
給水戸数(栓)	12,150	12,248	△98	△0.8
給水量 総数(mi)	1,838,242	1,793,727	44,515	2.5
給水量 一日平均(mi)	10,100	9,855	245	2.5

※給水戸数は、調定件数（平均）です
 ※給水量は、収入調定水量です

昨年の夏の猛暑により給水量が増えています。普段の生活から節水に心がけましょう。

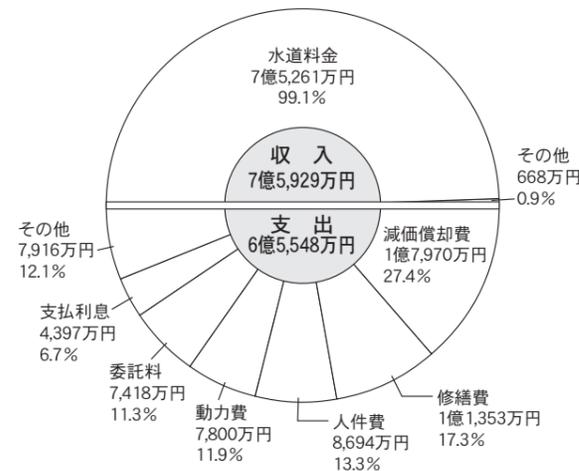
損益計算書

平成22年10月1日～23年3月31日



23年度予算

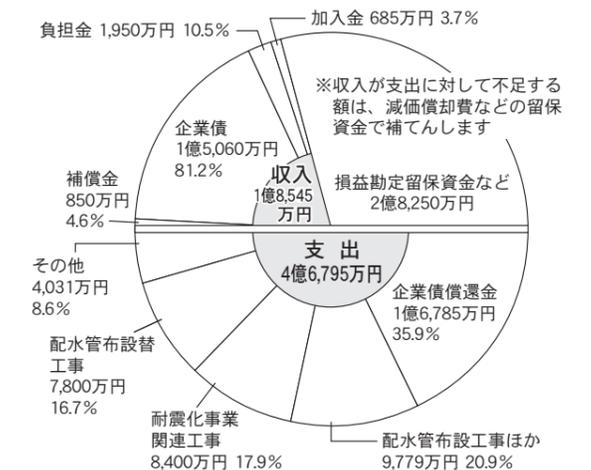
収益的収入及び支出



(業務の予定量)

1. 給水戸数…………… 11,400戸
2. 年間総給水量…………… 3,602,000m³
3. 一日平均給水量…………… 9,868m³

資本的収入及び支出



家の外に水道をお持ちの皆さんへ

これから暑い時期を迎え、自宅や作業所などの外に設置されている水道の利用が増えることが予想されます。外の水道の管理は、持ち主が責任を持って行ってください。第三者に勝手に水が使われても、料金を減免できる規定はありませんので管理には十分注意してください。使わないときは蛇口のハンドル部分を外すなどの対策をお願いします。



食べごろを探して摘み取ります



かわいいパッケージの手作りジャム

●営業時間
平日は午前10時～正午
土・日曜日は午前10時～午後4時

●問合せ
ナカゴグリーンパーク
☎768-4419

「おいしいベリーが待っています」「ベリーズプーン」
ナカゴグリーンパーク内の「ベリーズプーン」では、「越後妻有大地の祭り2011夏」の開催に合わせて、今年も営業が始まりました。

この施設では、ブルーベリーやラズベリーなど36種のベリー類が無農薬で栽培されています。7月7日には、管理する団体「ベリーズプーンかわにし」のメンバーによる今年の初収穫が行われました。

おいしいベリーが待っています
「ベリーズプーン」

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111

による今年の初収穫が行われました。

営業は7月23日(土)から8月21日(日)まで、期間中は毎日ワークショップが開催され、摘み取ったベリーを使ってジャムやジュースを作ることが出来ます。このワークショップは毎年大好評で、おいしいジャムを求めて何度も参加するリピーターもいるそうです。

この夏はベリーズプーンに足を運んで、採れたてを味わってみてはいかがでしょうか。

湯コーミマイ心ハート
まつのやま
松之山支所
☎596-3131

上川手歌舞伎保存伝承事業が3年連続東日本鉄道文化財団助成事業に承認されました

上川手歌舞伎保存伝承事業が、公益法人東日本鉄道文化財団の地方文化事業支援の平成23年度助成事業に昨年、おとしに続き承認され、7月1日(金)に松之山自然休養村センターで、助成事業通知書贈呈式が行われました。

この事業は、JR東日本管内の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全・継承と地域の発展のため、JR東日本各社が選出した候補に対し援助するものです。上川手歌舞伎保存会は、3年連続この助成事業に認定されました。同保存会は、天保年間に始まり昭和24年まで継続され一時中断した後、昭和57年上川手集落有志により復活し、以後、県内外で公演されています。



山正太郎さんは、「本年度は事業費110万円の2分の1の支援を受け、昨年度取り組んだ新しい演目をさらに磨きをかけ、福祉施設などの慰問や後継者の育成に取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

第25回 大蔵寺高原 真夏の雪まつり開催



雪上特設ステージでパン食い競争やラムネ早飲み大会などミニゲームが盛りだくさん。味の屋台村やちびっ子が参加できるイワナのつかみ取りもあります。

◎日時：8月14日(土)
午前10時30分～午後2時
◎会場：大蔵寺高原 雪上特設ステージ
◎受付開始：午前10時(予定)
◎参加費：無料
※ゲームの受付は当日会場内の本部テントで行います
■問合せ
市観光協会松之山支部 ☎596-3011
<http://www.matsunoyama.com/>

「心をひとつにしてみんなでジャンプ」をスローガンに、ながなわとび大会開催

7月1日(金)、松之山体育館で第24回ながなわとび大会が開催されました。ルールは、1チーム10人のとび手と2人のまわし手で構成され、そのうち女子2人以上と大人2人以上含まれていることが条件で、何回飛ぶことができるかに挑戦します。

この日は、中学生チームや各地域から小学生を含めた15チームが参加しました。どのチームも優勝を目指し練習を重ねてきましたが、12人の呼吸を合わせるが大変。競技では決勝戦で松里小学校の「ガンバ松里」チームが過去最高記録の171回を跳び優勝。また、予選での最高記録(91回)のジャンプ賞、新記録のスーパージャンプ賞の3冠に輝きました。



グリーンカーテン実践中

この夏、川西庁舎では、グリーンカーテンに取り組んでいます。ツル性の植物で窓や外壁を覆うことにより直射日光を和らげ、建物の温度上昇を抑える効果があるとされています。また、葉や花など見た目も涼しげになることが期待されます。

庁舎南側にプランターと園芸用のネットを設置し、アサガオやゴーヤなどの苗を植えました。初めての試みですので、試行錯誤しながらの管理となります。これからさらに暑くなる時期、どれだけの効果となるか今後の生育が楽しみです。



暑さに負けず育っています



指揮者体験の様子

プロの演奏を体感『ふれあい音楽教室』

7月1日(金)、川西中学校体育館で、県教育委員会主催の『ふれあい音楽教室』事業による、山形交響楽団のオーケストラ公演が開催されました。公演に

は川西地域の小・中学生と保護者、そして教員たち合わせて530人が出席。ベートーベンの『運命』ほか、全7曲が演奏されました。

公演では、オーケストラと学ぼう」と題し、楽団指揮者の佐藤寿一さん指導のもと、出席した各小・中学校の代表1人ずつが、実際に指揮者を体験する機会も設けられました。指揮者も体験した小学生の1人は、「とても楽しかったです」と笑顔で感想を話していました。

きらめき 青春 28

中条中学校 野球部

“一球同心”をスローガンに掲げる中条中学校野球部。平成11年には県大会と北信越大会で準優勝を果たし、全国大会出場まであと一步のところまで行きました。

今年の新しいチームの目標は北信越大会優勝。昨年完成した屋外練習場「中条ブルードーム」に込められた保護者や地域の期待に応えようと目標を大きく持ち、19人の部員全員が一つの球に心を込めて練習に励んでいます。



小海功太郎部長・早川太朗副部长・鈴木航太副部长——野球好きが集まる最高のチームです。土・日曜日は走り込みを中心に、平日の放課後は基礎練習を行っています。元氣とチームワークが自慢ですが、けじめが少し足りません。掃除や授業態度など生活の基本を改善して部活動につなげたいと思います。

宮崎隆史先生——元氣があり、枠にとらわれない良さがあります。しかし、けじめも必要。普段の学校生活で基礎的なことができなければ結果が伴わないことを彼らも理解しています。自分に厳しい姿勢を貫けば、たとえ野球で成果が出せなくとも大人になって仕事に生かせるタイミングがあるので、自分を律しながら自信をもって行動してほしいですね。

星空散歩

ブ...ラ...ネ...タ...リ...ウ...ム...
ドーム中里
きららからの便り⑩

★問合せ 中里公民館 ☎763-2493

7月後半から、8月には多くの流星群が現れます。ペルセウス座流星群、みずがめ座デルタ南流星群、やぎ座アルファ流星群などです。星座名の後についているデルタやアルファなどは、その星座の中で明るい星から順番にアルファ、ベータとギリシア文字をつけたもので、流星群の中心がどの星の近くにあるかを表しています。

流れ星は、宇宙空間に漂う砂粒やチリなどが地球の引力に捕らえられ、大気圏に突入し大気との摩擦熱で燃え尽きる時に光が発せられます。流れ星には、偶然地球に飛び込んでくるものと、毎年同じ時期に多くの流れ星が見られるものがあり、後者のことを流星群と呼びます。ほうき星はチリなどをその通り道に残していきます。そのチリの中を毎年地球が通り抜けるため、同じ時期にたくさんの流れ星を見る



【8月の番組情報】：☆8月の星空（定期）☆「さよならスペースシャトル」—有翼宇宙船30年の軌跡—（企画番組）
投影日：8月7日(日)・14日(日)・21日(日)・28日(日)
投影時間：午前11時～（約40分間）

お〜い！ 昔日

〈七十三〉

「弘法さまのお守り」の巻 (川治・六箇)

今からずーっと昔のこと。川治と六箇のムラの間で境界争いがありました。どちらも主張を譲らず、お上に裁きをつけてもらったところ、六箇の負けになりました。

このとき、たまたま裁きを行ったのが川治の新左衛門という人でした。新左衛門はふだんから弘法大師を信心している心の優しい人でしたが、裁判に負けた六箇の人たちは新左衛門を恨むようになり、「家に火をつけてしまえ」というまでになりました。

ある晩、何人かが新左衛門の家に近づき火をつけようとする、軒下に一人の若い坊さんが立っていました。見つかったは大変と、みんなほうほうの体で逃げ



ました。次の晩もそのまた次の晩もその坊さんが立っているの、とうとう、火をつけるのをあきらめました。

不思議なことに、若い坊さんが立っていた翌朝には軒先に弘法大師の絵巻物が

掛かっていました。新左衛門は「もったいないことだ」と桐箱に納めて大切にしまっておきました。

しばらくたつて箱を開けてみると絵巻物はなくなっていました。新左衛門は驚いてほうほう探し回りました。

たが、見つかりませんでした。

ある日、野良仕事の合間にとうとうと昼寝をしていると、若い旅の坊さんが夢枕に立ち、「お前は弘法さまの絵巻物を探しているようだが、それは屋敷の隅にある塚の中に入っている。ただし、ご本体はもう高野山に戻られた」と告げて、すーっと姿が消えました。目が覚めると新左衛門は、「弘法さまは帰られたか。だども：」と塚を掘ってみました。すると、絵巻物の軸だけがでてきて、弘法さまの絵姿はありませんでした。

それでも新左衛門は、弘法さまの法力にあやかりたいと上方参りに出かけ、願かけをして帰ってきました。旅の荷をほぐくと見たことのない包みがあり、中には弘法さまのお守りが入っていました。

新左衛門は、これを家宝として大切に祭り、以来、新左衛門の家は永く栄えたということでした。

昭和の十日町 No.28

～山内写真館の世界～
出征兵士の見送り

- 撮影時期：昭和15年ころの8月
- 撮影場所：十日町駅ホーム

「忠君愛国」「祝出征」などと書かれたのぼり旗が林立する中、出征兵士を乗せた汽車が出発しようとしています。親子、兄弟姉妹を残して戦地に赴く心情はいかばかりだったのでしょうか。家族は、弾丸よけの「千人針」や、寄せ書きした「日章旗」を持たせて無事を祈りました。

● 問合せ：情報館 ☎750-5100



平成22年度に「にいがた十日町市食の協議会」で地元食材にこだわって開発した、新しい米料理のメニューを紹介し、レシピは市及び市観光協会のホームページにも掲載しています。

新 コメを食べよう!!

米を使ったレシピ集④

●問合せ 産業観光企画課 ☎757-3691

アスパラご飯わさび風味

◆材料 (2人分)

- ・炊きたてのごはん(魚沼産コシヒカリ) …350g
 - ・グリーンアスパラ …60g
 - ・ベーコン(妻有ポーク) …60g
 - ・オリーブ油…大さじ1/2
 - ・かつお節…2g
 - ・しょうゆ…大さじ1/2
 - ・わさび…小さじ1
- ※アレンジ例：わさび風味をバター風味に変更する場合
・バター…5g ・塩、こしょう…少々

◆作り方

- ①アスパラは堅い根元を落とし、2cmの長さで斜め切り、ベーコンは2cm幅に切る。
- ②フランパンにオリーブ油を熱し、①を炒める。火を止めてからかつお節を混ぜ合わせる。
- ③炊きたてのご飯に②を混ぜ、器に盛る。
- ④しょうゆとわさびを合わせたものを食卓でご飯に混ぜながら食べる。

※しょうゆとわさびは、食べる直前に混ぜ合わせるとわさびの香りが生きます



小中一貫教育 その4

■問合せ 学校教育課 ☎757-3336

教職員への小中一貫教育に関するアンケートの結果(その三)

今年1月に市内の小・中学校の教職員を対象に実施したアンケートの結果を5月から紹介してきましたが、今回は最終回です。

⑤小中一貫教育を実現するために市教育委員会に提案すること(主な回答)

○「小中一貫教育の導入」即、教育課題の解決ではない」ので、長い目で成果を見てほしい。

○「小中一貫教育」と「小学校の複式学級解消や校舎建築の問題」が混同されると思っている人が多く、保護者や市民にわかりやすく説明してほしい。

○新しい制度をつくるだけでなく、子どもたちにとってどうすれば良い方向をつくれるのかという観点で進めてほしい。

○少ない教職員で小中一貫教育の基礎づくりをするのは大変。コーディネーター役を専門に担当する職員を別に配置したり、授業を行える教員を増やしてほしい。

コシジシモツケソウ

ちようどの時期、道路の斜面にピンク色の小さな花をつけた植物をよく目にします。この植物は「コシジシモツケソウ」といって、山地の日当たりの良い、やや湿った場所に生えるバラ科の多年草です。大きいものでは草丈が150cmにもなり、鮮やかなピンク色の花は深緑の草むらの中でひととき映えて見えます。

十日町市では「はんがん」とも呼ばれ、若芽のころは山菜としても親しまれています。山形県から富山県までの日本海側に分布し、比較的よく見られる植物なので、「どこが珍しいの?」と思われるかもしれません。

実はこのコシジシモツケソウは、松之山水梨で1950年、松之山在住の故相沢剛さんによって採取された標本を基に新種として記載されました。新種記載の基となったこの標本(タイプ標本)は国立科学博物館に永久保管され、標本のラベルには「採取地・松之



コシジシモツケソウ

■問合せ キヨロロ

☎595-8311



山村水梨地内小字横道倉、1950年6月採取、採集者…同所相沢剛、松之山地方名…はんぐわん」と毛筆で書かれています。

当時からどこにでもあり地元の人たちになじみ深い植物でしたが、広島・京都で理科教員だった相沢さんの目には、他にはない「だいたいんがあ」に映ったのでしよう。

今もタイプ標本が採取された場所には、60年前と変わらずコシジシモツケソウが鮮やかな花を咲かせています。



交通安全講習会

6月28日(火)、十日町交通安全協会南部支部主催の「交通安全講習会」が中央公民館で開催されました。初めに映画が上映され、出席者は悲壮な事故を防ぐため危険を予測することの重要性を改めて感じていました。その後、優良運転者表彰があり、代表者に賞状が授与されました。30年優良運転者の関口正二さん(高田町・74歳)は、「やっぱり家庭円満、気を落ち着けて運転できるよう協力してくれる家の者のおかげです」と安全運転の秘けつを語ります。講習会では、「①夜歩く時は反射材を身に付ける。②夜の運転はライトを上向きに、対向車がある時はライトを下向きに。③飲酒運転は絶対にしない、させない」などの話がありました。(市民リポーター:関口鈴子さん)



第30回十日町小唄日本一優勝大会
7月3日(日)、クロス10で第30回十日町小唄日本一優勝大会が開催されました。市内のほか県内外から出場した104人が、自慢のノドで日本の座を競いました。総合優勝には、60歳未満の部で優勝した久保田愛子さん(太子堂・27歳、写真中央)、60歳以上の部優勝に田村菊子さん(長岡市・64歳、写真左)、少年少女の部優勝に佐藤愛珠さん(新潟市西区・13歳)が選ばれました。総合優勝した久保田さんは、「昨年は準優勝1席だったので、この大会を目標にずっと練習してきました。今回の参加はプレッシャーを感じながらも、頑張った成果を発揮できてうれし」と喜びを語りました。

キナーレ8周年記念イベント開催

7月3日(日)、キナーレでオープン8周年を記念したイベント「Ring Ring Ring」が行われました。会場には特設ステージが設置され、十日町小学校和太鼓部の演奏や市内出身で関東や県内で活躍している音楽ユニット「ベストパートナー」のライブのほか、爆笑ものまねライブが開催され、会場は大いに盛り上がりました。会場ではステージショーのほか、フリーマーケットや陶芸体験コーナー、露店などが開かれ、たくさんの家族連れでにぎわいました。



人命救助で感謝状授与

7月6日(水)、榊十日町自動車学校が救命サポート事業所として初めて十日町地域メディカルコントロール協議会(十日町地域MC協議会)より感謝状を贈呈されました。これは、同学校で講習中に倒れた77歳の男性に対し、人工呼吸の実施や自動体外式除細動器(AED)の使用により迅速な心肺蘇生を行ったことで、男性が助かったことが評価されたものです。十日町地域MC協議会は平成16年2月に設立。圏域内の救急救命率の向上のため事業所の応急手当普及啓発活動などに取り組んでいます。現在、AEDを設置している救命サポート事業所は圏域内に109か所あり、今後も地域の救命率向上のため活動していきます。



七タチャレンジ2011

7月2日(土)吉田公民館にて、地域の子どもと保護者を対象に、盛りだくさんの楽しいイベント、七タチャレンジが行われました。まず最初はクッキングが行われ、水ようかんと、枝豆サラダをわいわい手作り。その後、市の保健師から、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを勉強し、短冊にお願いごとを書いて、玄関前の竹に七タの飾り付けを行いました。飾り付け後は、自分たちが作ったできたての水ようかんを抹茶をいいただき、作法の勉強も。地域のたくさんの方のボランティアの皆さんが協力しての楽しいイベントに、参加者からは、「水ようかんがおいしかった」「またやりたい」などの感想が聞かれました。(市民リポーター:門脇洋子さん)



ほくほくウェディングトレイン運行

7月2日(土)、ほくほく線車内で挙式を挙げる臨時列車「ほくほくウェディングトレイン」が初めて運行されました。挙式を挙げたのは、新郎で北越急行社員の本山貴之さん(26歳)と新婦の木村優さん(25歳)。この企画は、本山さんの同僚の発案に会社側が快諾し、実現したものです。参列者やスタッフなど約60人を乗せた電車は、十日町駅とくびき駅間を3時間かけて運転しました。十日町駅の車内では、神前結婚式が厳かに執り行われ、まつだい駅では披露宴、くびき駅ではケーキ入刀が行われました。走行中には友人たちによる余興が行われるなど、一風変わった終始華やかな結婚披露宴となりました。

日本医師会災害医療チーム 宮城県石巻市の避難所で救護活動

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市に、十日町市中魚沼郡医師会を代表して日本医師会災害医療チーム(池田医院医師ほか看護師、薬剤師、運転手兼事務員の4人)が訪れ、5月18日(火)から3日間、避難所で救護活動を行いました。チームの陣頭指揮を務めた医師の池田透さんから寄せられた活動報告書によると、「石巻市内は復興が早い地域と遅れている地域があり2極化しています。津波に襲われた地域では、家屋はほとんど流失し、瓦礫がうず高く残り悪臭が漂っています。担当した地区は、海岸から2km内陸にあるために津波を免れた石巻赤十字病院が統括し、災害の拠点病院として陣頭指揮に



当たることができました。新潟県医師会災害派遣チームは3つの避難所が割り当てられ、十日町チームは380人が避難する門脇中学校避難所で救護活動を行いました。震災発生初期の重傷者は既に病院で治療を受けていて、避難所では発熱や咳などの呼吸器症状、吐き気や下痢などの消化器症状、家族や家屋を失ったストレスによる不眠、うつなどの症状を訴える人が多くいました」とありました。チームのメンバーからは、「被災者の生の声を聴き、災害看護の難しさを実感しました」との声が聞かれ、報告では「災害に強い病院づくりと、地域医療は連携が大切」とまとめられました。また、今回の災害医療支援には、災害発生直後から十日町病院の山口医師を中心とした災害派遣医療チームや、十日町病院長の塚田医師を中心とした新潟県災害拠点病院医療チームも石巻市で医療活動に従事しています。



まちの話題

TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係 ☎757-3112 へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

石彫クリーンアップウォーク開催

7月2日(土)、ネージュスポーツクラブと十日町石彫シンポジウム実行委員会とのタイアップで「石彫クリーンアップウォーク」が開催されました。7月29日(金)から始まる「第17回十日町石彫シンポジウム」を前に行われたこの催しは、今年で2回目。普段は見るだけの石彫をウォーキングしながらきれいに磨くものです。参加者は、石彫の掃除だけでなく周辺の伸びている草を刈り取るなどして、文化と運動の融合を堪能していました。石彫があるコースを歩きながらきれいに磨くこの作業は、普段何気なく歩いている道にたまたま石彫作品を再発見するきっかけとなり、十日町市の魅力をより知ることができる取り組みとなりました。(市民リポーター：小川将吾さん)



輝く三連覇！そして全国大会へ

6月25日(土)、黒崎地区総合体育館(新潟市西区)で、第45回「交通安全子ども自転車新潟県大会」が開催され、十日町市から出場した川治小学校が、団体・個人ともみごと優勝を果たしました。川治小学校からは3チームが出場し、Aチームがみごと三連覇、またCチームが準優勝、Bチームが3位と表彰台を独占しました。また、個人種目別でも小林すみれさん(5年)が優勝するなど輝かしい成績を収めました。8月3日(水)には東京ビックサイトで行われる全国大会に新潟県代表として出場します。



音楽とホタルで集落を元気に！

7月2日(土)、西田尻集落地内で「音とホタルの夕べ」が開催されました。このイベントは、ホタルが飛び交う集落の中で、音楽を聞きながら夏のひとときを味わうもので、同集落が主催し、今回で4回目となります。昨年に引き続き、馬喰町バンドが出演し、音楽を披露。お客さんは、民謡とジャズ、民族系の要素からなる新しくもどこか懐かしい演奏とホタルの舞の共演に魅了されていました。主催した西田尻集落の樋口克久区長は最後の挨拶で、「西田尻は戸数も住人も少なくありませんが、多くの人を知ってもらい、なんとか残していきたいという気持ちで開催しています。ぜひまた遊びに来てほしい」と集落への思いを語っていました。



地元の魅力盛りだくさんの宝木塚交流会

7月1日(金)から3日(日)までの3日間、旧東下組小学校に泊まりながらの宝木塚・十日町子ども交流会が開催されました。宝木塚からは45人、十日町市からは51人の子どもが参加し、東下組地区内で交流を深めました。ちまきづくり、そばづくり、竹の食器づくり、陶芸体験、ホタル観察など、地元の皆さんが、地元ならではの体験プログラムを盛りだくさんに用意。子どもたちは限られた時間でしたが、たくさん経験ができました。受け入れに協力した東下組地区の皆さん、大変お疲れさまでした。(市民リポーター：樋口道子さん)

GUIDE

お知らせ・ガイド 市役所 TEL 757-3111

中里地域交通死亡事故ゼロ1500日達成記念パレード

7月14日(木)をもって中里地域での交通死亡事故ゼロ1500日達成を記念し、交通安全パレードを行います。●日時 7月30日(土)午後1時～4時 ●発着場所 中里庁舎 ●問合せ 中里支所地域振興課 ☎763-2511

清田山自然運動公園まつり

雪のすべり台や雪中宝探しなどイベント盛りだくさん。●日時 8月15日(月)午前10時～午後2時30分 ●会場 清田山キャンプ場 ●問合せ 市観光協会中里支部 ☎763-

3168)

第57回原水爆禁止十日町市民大会

●日時 8月6日(土)午前8時～8時30分 ●会場 キナーレ平和の火前 ●問合せ 原水爆禁止十日町市協議会事務局(生涯学習課内) ☎757-8918

原爆が広島に投下された8月6日午前8時15分、長崎に投下された9日午前11時02分に、家庭や職場でも黙とうを捧げませんか。

新潟県スポーツフェスティバル中越地区大会

●期間 9月4日(日)～11月27日(日) ●会場 中越管内各地 ●種目 グラウンドゴルフ・ソフトボール・女子ソフトボール・ラージボール卓球・ターゲットバードゴルフ・年齢別バドミントン・インディアカ・女子バレーボール・ワンバウンドバレーボール・ユニバーサルホッケー・ラケットテニス・スポレック(体験教室) ※開催日、会場など詳細は問い合わせください。種目ごと

福祉まつり

に申込み締切りが異なりますので注意してください ●申込み 市総合体育館 ●問合せ スポーツ振興課 ☎756-5013

第10回キラリフェスティバル

地元の採れたて野菜が並ぶ音楽市場、屋台村、よさこい演舞などの芸能大会も行われます。●日時 7月31日(日)午前10時～午後4時 ●会場 問合せ 仙田体験交流館キラリ ☎761-2008

わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会

中学生が毎日の暮らしの中で感じたこと、考えていることについて主張を発表しま

す。●日時 8月9日(火)午後1時30分～4時30分 ●会場 市民会館 ●出場者 郡市内の各中学校代表生徒13人 ●入場料 無料 ●問合せ 十日町地域振興局健康福祉部 ☎757-2400

十日町市芸術協会 第22回美術鑑賞ツアー

詳細は問い合わせください。●日時 9月4日(日)午前6時出発 ●行き先 酒田市美術館、土門拳記念館(いずれも山形県) ●参加費 1000円 ●定員 先着45人 ●申込み 中央公民館に用意してある申込書を中央公民館窓口にて提出 ●問合せ 宮沢 ☎758-2965

三オンなかさとふれあひ祭り

花火大会やリコーダーコンサート、たくさんの屋台が並びます。●日時 7月31日(日)午後2時～8時 ●会場 問合せ 三オンなかさと ☎763-4811

川っぺり音楽祭

清津川のせせらぎを聞きな

広告掲載

平成24年4月採用の職員募集中!! 元気で明るく福祉に理解のある職員募集しています。(8月17日締切) 平成23年5月 複合型介護施設よしだ オープンしました! 職種 人数 必要資格など 看護師 3名 看護師免許(准看護師可) 正職員 介護職員 10名 介護福祉士、又はヘルパー2級以上 支 援 員 2名 (不問 介護福祉士優遇) 準職員 看護職員(短時間勤務可) 介護職員(フルタイム・パート) 訪問介護員(ヘルパー2級以上) 随時募集中!! お近くのハローワーク又は法人本部までお問い合わせください。～地域福祉の発展と充実に貢献します～ 〒948-0003 十日町市新座甲609番地2 TEL025-752-7670 FAX025-752-7572 URL:http://fuku-tokamachi.or.jp/ 社会福祉法人 十日町福祉会

から、ジャズなどの演奏を楽しんだり、ジャズなどの演奏を楽しむおもてなし野外音楽祭です。●日時 8月14日(日)午後6時30分～9時 ●会場 清津川フレッシュユパーク ●料金 無料 ●問合せ 高橋 ☎090-4537-9472

十日町おやこ劇場 わくわくキッズ(未就園児サークル)

親子で英会話をしながら楽しく体を動かします。※8月は小学生の参加も大歓迎です。●日時 8月4日(木)・18

むし歯のないよい歯の子

よい歯の子	住所	保護者
関野美彩希	(昭和町3)	信夫
熊倉琉久	(稲荷町3南)	優
林庭野千	(川原町)	秀和
佐藤野彩陸	(江道)	康成
川田活樹	(五軒新田)	祐介
武橋金樹	(中町)	武志
寺山悠	(背戸)	大介
長谷川明希	(新水)	傑
福水落貫	(高田町4)	真人
上村知寿	(山本町1)	徹
村上彩遥	(山本町3)	賢児
市村美龍	(上新田4)	吉徳
高田井ノ口	(桑原)	政幸
小口千智	(願入)	義博
波野弥	(土市2)	知誉
権波弥央	(土市4)	和也
波野智	(伊達3)	友之
波野亮	(沖立)	勝彦
波野亮	(坪山)	良征
波野亮	(田沢本村)	亮太
波野亮	(本屋敷)	守
波野亮	(松之山)	悟志

6月の3歳児健診を受けた子32人

●**会場** 中央公民館 ●**持ち物** 着替え、飲み物 ●**参加費** 1回200円 ●**内容** ベテラン講師による「英語であそぼ」+「親子でリズム」 ●**問合せ** 十日町おやこ劇場事務局 (加賀書院内 ☎752-2114)



十日町商工会議所 一般事務職員募集

●**募集人員** 1人 ●**職務内容** 地域経済振興事業の企画運営、経営相談・支援、各種会議・講習会の企画・運営など ●**初任給** 173,000円



7月の納税・納付

7月は固定資産税第2期、国民健康保険税第4期、後期高齢者医療保険料第4期及び介護保険料第4期の納付月です。期限(8月1日)内に納めましょう。 ●**問合せ** 税務課・市民生活課・福祉課



8月の休館日

- 中央公民館 毎週月曜日
- 千手中央コミュニティセンタ― 毎週火曜日
- 博物館 毎週月曜日
- 情報館 毎週月曜日
- 市総合体育館 16日(火)
- 川西総合体育館 10日(水)・24日(水)
- 松代総合体育館 毎週月曜日
- キョロ口 休館日なし
- ひだまりプール 休館日なし

「森の学校」キョロ口 8月の里山体験プログラム

日時・テーマ
6日(土) 午後1時～3時: トンボ調査 (無料)
7日(日)・10日(水)～16日(火)・20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日) 午後1時～2時30分: 里山の生き物探検
6日(土) 午後7時30分～8時30分: 夜の昆虫探検 (大蔵寺高原駐車場集合)
12日(金)・14日(日)・21日(日) 午後2時40分～3時30分: 昆虫標本作り講座 (里山の生き物探検に引き続き行います)
20日(土) 午後1時30分～5時: 花ごよみ調査 (無料)
27日(土) 午前5時～8時: 探鳥会 (無料)

※小学3年生以下は保護者の同伴が必要です
●**入館料**: 大人500円、小・中・高生300円 (市内小・中学生は無料)
●**参加費**: 大人500円、小・中・高生300円
●**集合場所・問合せ** キョロ口 ☎595-8311

ビジネスパソコン講習会受講者募集

55歳からの雇用・就業を応援します ●**受講期間** 8月25日(木)・26日(金)・29日(月)・9月2日(金)・5日(月)・9日(金) ●**会場** サンクロス十日町ほか ●**対象者** 55歳以上の人 ●**受講料** 無料 ●**募集人数** 20人 ●**申込み・問合せ** 8月10日(水)までに、(社)十日町地域シルバ―人材センター (☎758-4809)

県立魚沼テクノスクール O.A.ビジネス科9月入校生募集

●**期間** 9月13日(火)～12月12日(月) ●**時間** 平日午前9時30分～

本庁舎正面駐車場の乗り入れ変更について

市では、本庁舎車庫棟の改修工事を7月中旬から行っています。これに伴い本庁舎正面駐車場への乗り入れが変更になりますので、看板の案内に従って進入してください。ご理解とご協力をお願いいたします。 ●**工事期間** 平成24年1月下旬まで ●**問合せ** 財政課 (☎757-9914)

十日町駅地下道に作品を展示しています

8月は、十日町駅地下道「市民のいこいの広場」に南中学校区の児童・生徒の作品を展示します。ぜひご覧ください。 ●**問合せ** 中央公民館 (☎757-5011)

越後湯沢駅前駐車をご利用ください

越後湯沢駅前の市民専用の駐車をご利用ください。越後湯沢駅東口から徒歩2分です。 ●**利用料金** 1日500円 ※前払い(最長連続5日間) ●**対象** 市民及び市内勤務の

平成23年度 夏季特別展 縄文のKAZARI 顔を飾る縄文人

平成21年に発掘調査された樽沢開田遺跡(縄文時代後・晩期)では、多彩な土製耳飾が出土しています。本展では、県内と長野・群馬・栃木県の土製耳飾・玉類を中心とした装身具を集め、縄文人のオシャレに迫ります。
◆**会期**: 7月30日(土)～9月11日(日) ※月曜休館
午前9時～午後5時 (入館は4時30分まで)
◆**観覧料**: 高校生以上300円 (中学生以下無料)
【記念講演会】(午後1時30分～)
①8月6日(土)「縄文人と耳飾り」
設楽博己さん (東京大学大学院教授)
②9月3日(土)「東アジアにおける瑠璃の起源と拡散」
藤田富士夫さん (敬和学園大学非常勤講師)
※申込み・受講料不要
◆**会場・問合せ**: 博物館 ☎757-5531

分午後4時30分 ●**会場** 十日町パソコンカレッジ ●**受講料** 無料 ※テキスト代など自己負担あり ●**申込み** 8月19日(金)までにハローワーク十日町へ ●**問合せ** 県立魚沼テクノスクール (☎025-794-2410)

北陸新幹線駅名称募集

●**募集期間** 9月16日(金)まで ●**応募・問合せ** 募集チラシの専用はがき、郵便はがきに新幹線の駅名とその理由、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、応募コース(抽選で特

体力テスト参加者募集

健康維持や体力増進のため、自分の体力年齢を確認してみませんか。 ●**日時** 8月10日(水)午後7時30分 ●**会場**

人 ●**申込み** 利用日の3日前までに産業振興課商工振興係または各支所の市民課市民保険環境係で予約 ●**問合せ** 中里支所地域振興課 (☎763-2511)

明石の湯 営業日変更のお知らせ

8月は明石の湯を休まず、午前10時から午後10時まで営業します。 ●**問合せ** キナーレ (☎752-0117)

長岡まつり大花火大会に直通臨時列車を運転します

●**運転日** 8月2日(火)・3日(水) ●**運転時刻** 行き/午後4時

情報館 8月のテーマ図書

- 「珍」(『世界珍獣図鑑』『アラマタ大事典』など珍奇で不思議なものの本)
 - 「戦争」(『ヒロシマ・コレクション』『写真・ポスターから学ぶ戦争の百年』など戦争に関する本)
 - 「おばけがくるぞ」(『めっきらもっきらどおんどん』『おばけパーティ』などこわ～いおばけの本)
 - 「エミリー・ロッダを読む」(『デルトラ・クエスト』シリーズで人気のエミリー・ロッダの作品を紹介。 ※7月21日(木)から展示しています)
- ※テーマは一部変更したり追加したりする場合があります
■**問合せ** 情報館 ☎750-5100

市報おわびと訂正

市報7月10日号9ページで青木信作さんの叙勲が瑞宝双光章とありましたが、正しくは瑞宝単光章でした。おわびして訂正します。



発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
E-mail koho@city.tokamachi.ig.jp URL https://www.city.tokamachi.ig.jp/

TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
編集/企画政策課広報広聴係



スタート直前の参加者たち。コースは、中里・水沢・吉田・川西・松代・松之山・津南を巡る全行程120kmを走破します。



沿道からの声援に、参加者も思わず笑顔に。ペダルを踏む足にも力が入ります。



コース内で9か所の休憩所を設けますが、そのうち7か所は集落や地域の団体が運営します。それぞれの休憩所では野菜や果物のほか十日町市の名産をふるまい、趣向を凝らしたおもてなしで参加者を迎えます。

ツールド妻有2011

日時：8月28日(日) 午前7時～午後5時

会場：ミオンなかさと(スタート・ゴール地点)

※参加者の申込みは締め切りました。沿道での応援をお願いします

人気の秘密は、里山の美しい景色もありますが、全行程120kmのコース途中に設定される休憩所が充実していることです。休憩所のない地域でも、沿道で手を振る温かい声援が、参加者を勇気づけます。事務局長の西野将さん(高田町3西・32歳)は、「沿道で手を振る子どもたちやお年寄り、地域の人たちが、毎年増えていることを実感するときに一番感動します。地域の人たちが大勢参加してくれることが本当にうれしいです」と語りました。今年の開催は8月28日(日)。ぜひ参加者の応援に出かけませんか。

ツールド妻有は、2006年の大地の芸術祭で初めて開催され、当時は、芸術祭のアート作品を自転車で見て回るツーリングイベントでした。「この地域の本場の芸術は、美しい里山や清流の風景。そして、この地域に住む人たちです。それを全国に発信したかった」と話すのは、設立当初から運営に携わっている水野博さん(学校町1・61歳)。それに賛同した人たちが集まり、芸術祭色を少し薄めて、この地域の魅力の発信に力を入れたところ、毎年全国から500人が集まる自転車イベントに成長しました。



景色・おもてなし・笑顔が魅力

全国から毎年500人を超える参加者が集まるサイクリングイベント「ツールド妻有」。走行距離120km、累積標高2,000mという全国でも屈指の過酷なコースにもかかわらず、数日で募集定員に達するほど大人気のイベントです。実行委員会では、全国からのサイクリストと地元的笑顔をつなげるために、準備を進めています。

ツールド妻有実行委員会

問合せ 事務局
090-6148-8618